

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本市四賀音楽村音楽活動の事業
事業主体 (連絡先)	松本市四賀音楽村 (事務局：佐々木清夫 TEL0263 (47) 9200)
事業区分	(3) 教育文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	811,600円 (うち支援金：608,000円)

事業内容

長きに渡り実績のある「四賀コンサート」は第32回を開催した。この四賀コンサートを核に「松本市四賀音楽村」を立ち上げ、3年目の活動を無事終了した。29年度の事業は①四賀コンサート ②地元出身者によるサキソフォンコンサート ③松響&内川絵理奈ニューイヤークンサート ④天満敦子ヴァイオリンコンサート ⑤狭間壮・由香 たんぼぼコンサート の事業。他の活動でも、地域住民により構成している混声合唱団が、福祉施設や公共の場でコンサートをボランティアにて開催。合唱団練習も1年を通し毎週月曜日に開催。只今「第九」に3年計画で取り組んでいる。音楽村の設立、活動には、地域住民、地域団体の協力の力が大きい。



狭間壮・由香

たんぼぼコンサート風景

とても、温かなコンサートです

【目標・ねらい】

- ① 本物の音楽を提供
- ② 交流人口の増加
- ③ 子ども達へ本物の音楽を
- ④ 四賀音楽村の定着

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ◎地域の活性化と音楽文化の発信
辺地から中央へ音楽文化を発信。
- ◎交流人口の増加
地域内交流：延 500～2000人
地域外交流：延 500～ 600人。
多くの方が足を運んでくださいました。
- ◎子ども達が本物の音楽に出会うチャンスの創出
子ども達の身近に本物の音楽を。また、子ども達の記憶に残る故郷の形を形成。

※自己評価【B】

【理由】

スタートして音楽村活動は3年経ちました。それぞれの事業は集客にも前進があった。里山に本物の音楽を定着させ、この活動を続け内外に発信し続けたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

音楽を通して活動を進め「松本市四賀音楽村」を定着させてゆく。定着してきた毎年行うコンサートを今後も続け、より多くの方に本物の音楽を広めてゆきたい。次年度も複数いる地元出身の様々な音楽、楽器を操るアーティストにもどんどん参加を呼びかけており、目先の変わった音楽にも挑戦していきたい。四賀音楽村ここにありと言わしめたいと思っています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある